



20号館周辺配置図

❖ 湘南校舎 20号館、山田守イズムの継承 ❖

東海大学湘南校舎 20号館が 2022年3月に竣工し、同年4月から新設された児童教育学部が教育・研究に利用している。南門を入ってすぐ右手、中央通りを挟んだ6号館の東側、かつて研究実験館Hがあった場所に建てられた。

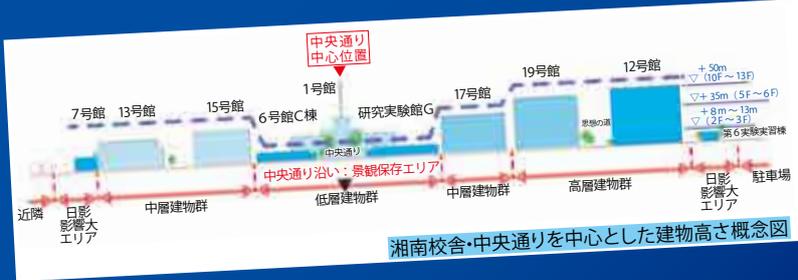
20号館の特徴はいくつも挙げられるが、まず特筆すべきはそのファサード（建物正面の外観）である。近代日本を代表する建築家・山田守——本学園の理事を務め、各教育機関の施設を設計。湘南校舎においてもランドデザインおよび初期の建物を手掛けた——が好んで用いた意匠を取り入れている。

水平を基調としたシンプルな構成は、コンクリート打ち放しの仕上げと相まって、質実剛健さが際立つ。その一方で、大きく張り出したひさしは、薄く、角は緩やかなカーブを描いている。学生らを迎え入れるイメージで右側に配された「斜め壁」など、柔かな温かみも同居させた。山田守が学園に込めた想いを、いかに現代の感性で受け取り、さらなる未来へと受け渡していくか。その一つの回答が、この20号館と言えよう。

中央通り沿い、西側の外壁は既存の研究実験館Gと同一直線上に配置し、また高さを抑えるなど、南門周辺エリアで統一感を醸成している。そこで学ぶ若者と、集うさまざまな世代が生み出す、新たな調和に期待したい。



東側(12号館)から見た20号館周辺



CONTENTS

02 学園この10年 2012~2022年度

08 Tokai Fashion Club 12th meeting 東海大学菅生高等学校・中部部

12 東海あ〜かいぶす file12 鍵谷研究資金と電子工学科のつながり

14 湘南20号館が受け継ぐもの

学園 この 10年

2012~2022年度

年史編纂にはこまめな記録が肝要——2022年は学校法人東海大学にとって建学80周年の節目でした。学園は1993年11月1日付で『東海大学五十年史』を発行。その後を受け、『学園史ニュース』では2012年11月発行の第7号において、学園の1993年11月から2012年11月までの20年間を振り返る特集を組みました。今回はその後の10年間を振り返ります。

※学園では2017年11月に『図録 東海大学75年』を、2018年11月に『東海大学七十五年史』を発行していることもあり、今企画では2017年度以降にスペースを割きました。

*過去の『学園史ニュース』はこちら→
<http://www.pr.tokai.ac.jp/gsc/gakuenshi/>



*『東海大学七十五年史』はこちら→
<https://opac.time.u-tokai.ac.jp/webopac/TC00000056>



2012年度 4.1-2013.3.31

附属小学校と附属幼稚園が東海大学清水校舎内に移転。新しい校舎・園舎での教育がスタート(2012年4月)



国内では25年ぶりとなる金環日食に向けて、学園一体となって観測プロジェクトを展開。学園各拠点での観測会のほか、特別番組を制作、ネット配信などを行った(写真は湘南校舎での観測会。2012年5月21日)



東海大学沼津校舎で開発工学部廃止に伴いお別れ会を開催。1991年の開設以来およそ5,800人の卒業生を輩出(2013年3月16日)

2013年度 4.1-2014.3.31



東海大学湘南校舎18号館竣工(2014年3月7日竣工式)



東海大学旭川校舎で芸術工学部の募集停止に伴い最後の建学祭(2013年6月15、16日)

2014年度

4.1-2015.3.31



東海大学所蔵のエジプトコレクションを公開。横浜ユーラシア文化館と共催（2015年1月31日～4月5日）



東海大学硬式野球部（湘南校舎）が全日本大学野球で13年ぶり4度目の優勝。創部50年の節目に花を添える（2014年6月15日）

2015年度

4.1-2016.3.31



東海大学パシフィックセンターとハワイ東海インターナショナルカレッジがハワイ大学ウエストオアフ校内に移転（2015年4月）



学園の4幼稚園のうち3園が認定こども園に移行。写真は3歳未満の18人が入園した付属本田記念幼稚園の入園式（2015年4月10日）

2016年度

4.1-2017.3.31



2016年4月14日、16日発生の熊本地震で東海大学阿蘇校舎に甚大な被害。周辺のアパートに住んでいた農学部生3人の尊い命が失われた



リオデジャネイロオリンピックに出場した東海大学在学・出身の選手らが湘南校舎で報告会（2016年10月19日）

学園建学75周年を間近に控え、東海大学各校舎、附属校の教育環境整備が進められた。一方、沼津校舎の開発工学部が2012年度末、旭川校舎の芸術工学部が2014年度末に最後の卒業生を輩出。開発工学部にあった医用生体工学科は2010年度より工学部（湘南校舎）で開設（2022年度より医工学科に改称）し、芸術工学部の精神は国際文化学科に2012年度、デザ

イン文化学科を開設し、継承した（札幌校舎、2022年度募集停止）。2016年4月には最大震度7を2度も記録する熊本地震が発生。阿蘇校舎に通う農学部生3人の尊い命が犠牲となった。附属かもめ幼稚園と附属熊本星翔高校、東海大学熊本校舎（経営学部、基盤工学部）の教育・授業再開は5月に。農学部の授業は7月に熊本校舎で再開された。

2017年度

4.1-2018.3.31

世界の出来事

- 改正組織犯罪処罰法が成立、施行
- 九州北部豪雨
- 陸上男子 100メートルで桐生祥秀が日本人初の9秒台(9秒98)を記録
- 電通が過労自死事件で有罪判決
- 神奈川・座間市のアパートで9遺体発見
- 新語・流行語大賞「インスタ映え」
- 平昌オリンピック、パラリンピック開催



学校法人東海大学建学75周年記念式典を開催(2017年11月1日、湘南校舎2号館大ホール)



東海大学福岡短期大学で最後の学位授与式と閉学式。学生と同窓生代表、学長が校旗を返納(2018年2月17日)

2018年度

4.1-2019.3.31

世界の出来事

- 史上初の米朝首脳会談
- 大阪府北部地震
- 西日本豪雨
- 北海道胆振東部地震
- 日産ゴーン会長逮捕
- 本庶佑、ノーベル医学生理学賞
- 新語・流行語大賞「そだねー」



箱根駅伝で東海大学が総合初優勝。最終10区のゴールテープを切る郡司陽大選手(体育学部3年、2019年1月3日、東京・大手町)



第50回海外研修航海が南太平洋の島々をめぐる47日間の旅から帰港(2019年3月27日、神奈川県・横浜港)

2019年度

4.1-2020.3.31

世界の出来事

- 皇太子徳仁親王が天皇に即位、令和に改元
- ラグビーワールドカップ日本大会開催
- 消費税率10%に引き上げ
- 沖縄・首里城焼失
- 吉野彰、ノーベル化学賞
- 新語・流行語大賞「ONE TEAM」
- イギリスがEU離脱
- WHOが新型コロナウイルスのパンデミックを宣言



全日本学生柔道体重別団体優勝大会で東海大学が大会初の男女同時優勝(2019年10月20日、兵庫県尼崎市・ベイコム総合体育館)



1944年創立の付属高輪台高校が75周年を迎え、記念式典を開催(2019年11月9日、東京都港区・同校アリーナ)

学園の出来事

- 東海大学湘南校舎1号館に Global AGORA がオープン (4月1日)
- 全日本学生柔道優勝大会で東海大学男子が優勝(6月25日、2年連続22度目。
※2022年まで6連覇、優勝26度)
- 出雲全日本大学選抜駅伝競走で東海大学が優勝(10月9日、10年ぶり4度目)
- 東海大学湘南校舎2号館大ホールの改修が完了(10月24日記念イベント)
- **A** 建学75周年記念式典(11月1日)、同祝賀会(11月4日)開催
- 「学園マスタープラン」発表(11月1日)
- **B** 全日本吹奏楽コンクール・大学の部で東海大学が金賞(10月28日、2年連続5度目。※2021年まで5大会連続8度の金賞)
- **C** 山形高校の新校舎が竣工(10月31日竣工式、11月24日落成記念式典)
- 全国高校ラグビーフットボール大会で付属仰星高校が優勝(2018年1月8日、2年ぶり5度目)
- **D** 東海大学福岡短期大学が閉学(2018年2月17日最後の学位授与式、同24日閉学記念パーティー)

**学園の出来事**

- 東海大学に文化社会学部、健康学部を開設(湘南校舎)。医学部に看護学科を開設(伊勢原校舎)(4月1日)
- 東海大学付属仰星高等学校、東海大学付属大阪仰星高等学校に改称(4月1日)
- 東海大学付属仰星高等学校中部、東海大学付属大阪仰星高等学校中部に改称(4月1日)
- 東海大学で授業時間を100分に変更(従来90分、伊勢原校舎を除く)(4月～)
- 東海大学文学部歴史学科西洋史専攻の三佐川亮宏教授が日本学士院賞を受賞。ドイツ中世史の研究成果が評価(6月25日授賞式)
- **E** 全日本大学バスケットボール選手権大会で東海大学男子が優勝(12月16日、5年ぶり5度目。※2020年、2022年も制し優勝7度)
- **F** 箱根駅伝で東海大学が総合初優勝(2019年1月3日)
- 付属自由ヶ丘幼稚園で2号館増築棟が完成(2019年3月16日テープカット)
- **G** 阿蘇実習フィールドの農学実習場A、Bが竣工(2019年3月18日竣工式)
- **H** 学校法人東海大学海外研修航海が50回の節目(2019年2月9日～3月27日)

**学園の出来事**

- 全日本学生柔道優勝大会で東海大学柔道部が男女同時優勝(6月23日、女子優勝は12年ぶり5度目。※2022年まで3連覇、優勝7度。※男女同時優勝は15年ぶり2度目、2022年まで3大会連続4度)
- **I** 東海大学湘南校舎で芝生広場「Palette パレット」お披露目(6月26日)
- **J** 全日本吹奏楽コンクール・高校の部で付属高輪台高校、付属札幌高校、菅生高校が金賞。付属大阪仰星高校が銀賞。(10月20日、写真は札幌高校)
- **K** 全日本学生柔道体重別団体優勝大会で東海大学柔道部が男女同時優勝(10月20日、男子優勝は2年ぶり11度目、女子初優勝、男女同時は大会史上初)
- 全日本大学駅伝で東海大学が優勝(11月3日、16年ぶり2度目)
- **L** 付属高輪台高校が75周年(11月9日記念式典)
- 第51回海外研修航海が新型コロナウイルス感染状況を鑑み中止(2020年2月20日～3月28日を予定、同年2月10日に中止発表。7月に記念文集発行)
- 新型コロナウイルス感染状況を鑑み、東海大学各校舎、短大、付属校で学位授与式の式典、卒業証書授与式を中止(2020年3月)



(株)フォトライフ提供

2020年度 4.1-2021.3.31

世界の出来事

- 新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言
- レジ袋有料化スタート
- 九州豪雨
- 将棋の藤井聡太七段が最年少戴冠

- 菅義偉内閣発足
- 「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」大ヒット
- 新語・流行語大賞「3密」
- ジョー・バイデン米大統領が就任



東海大学サッカー部が全国大会 #atarimaeni CUP で優勝。格上を次々破り頂点へ(2021年1月23日、東京・味の素フィールド西が丘)



付属相模高校が選抜野球大会で10年ぶり3度目の優勝。決勝は3-2のサヨナラで勝利(2021年4月1日、兵庫県・阪神甲子園球場)

2021年度 4.1-2022.3.31

世界の出来事

- 東京2020オリンピック、パラリンピック開催
- 静岡・熱海で土石流
- 電車内で無差別刺傷事件
- 岸田文雄内閣発足

- 眞子さま、小室圭さん結婚
- 新語・流行語大賞「リアル二刀流/ショータイム」
- 北京冬季五輪、パラリンピック開催
- ロシアがウクライナに軍事侵攻



東海大学湘南校舎で入学式にあわせ、新1、2年生を対象に歓迎イベントを開催。フィナーレに花火の打ち上げも(2021年4月2日)



東海大学湘南校舎で東京2020オリンピック・パラリンピック報告会。学園出身の選手、指導者らが応援に感謝(2021年12月15日)

2022年度 4.1-2023.3.31

世界の出来事

- 成年年齢18歳に引き下げ
- 山口・阿武町で給付金4,630万円誤送金
- 知床半島沖で観光船が沈没
- 安倍晋三元首相が銃撃され死亡

- 英エリザベス女王死去。96歳
- プロ野球・ヤクルト村上宗隆選手が日本人最多56本塁打
- 1ドル=151円台、31年ぶりの円安水準
- 新語・流行語大賞「村神様」



湘南校舎20号館の竣工式で、関係者によるテープカット(2022年3月3日=2021年度。2022年4月より新設の児童教育学部が教育・研究に利用)

学園の出来事

- 東海大学に児童教育学部(湘南校舎)、経営学部(高輪校舎)、国際学部(同)、建築都市学部(湘南校舎)、人文学部(清水校舎)、文理融合学部(熊本校舎)開設(4月1日)
- 学園オリンピック3年ぶりに開催(文化部門はオンラインで7月下旬から11月まで、スポーツ大会は8月と年度末に分割開催)
- 第52回東海大学研修航海、国内航路で実施(2023年2月19日~3月20日※予定)
- 東海大学医学部附属大磯病院の運営を終了(2023年2月28日※予定)
- 東海大学が熊本空港そばに臨空校舎開設(農学部が利用、2023年度~※予定)

学園の出来事

- 東海大学に大学院生物学研究科を開設（札幌校舎、4月1日）
- 東海大学の各校舎、各付属校で入学式の式典を中止（4月）
- 東海大学の春学期開始は5月11日に遅れ、インターネットを活用した遠隔授業を実施。付属校も遠隔授業や自宅学習、分散登校などを取り入れ段階的に再開
- 学園オリンピック文化部門が中止（スポーツ大会は東京五輪開催に伴い当初から休止。※2021年度は文化部門、スポーツ大会ともコロナ禍で中止）
- M**東海大学の旧阿蘇校舎1号館が震災ミュージアムとして公開。県が「熊本地震 記憶の回廊」として推進する震災遺構整備事業の一環。地震の教訓等を後世に伝え、防災・減災や復旧・復興につなげようとするもの（8月1日～）
- N**大学サッカーの全国大会 #atarimaeni CUPで東海大学が優勝（2021年1月23日）
- O**東海大学短期大学部が閉学（2021年3月18日式典）
- P**選抜高校野球大会で付属相模高校が優勝（2021年4月1日、10年ぶり3度目）

**学園の出来事**

- 東海大学で学部等を学問分野や地域ごとにまとめる「カレッジ制」導入。また事務系組織を大幅に改組。各カレッジにカレッジオフィスを設置（4月～）
- 付属望星高校、新校舎での教育を開始（4月～）
- Q**東海大学、湘南校舎で新生と2年生を対象とした入学式を開催（4月2日）
- 新型コロナウイルスワクチン接種のため、医学部付属病院の医師らを望星丸で東京都小笠原村へ派遣（5月～）。各校舎でワクチン職域接種開始（7月～）
- 東海大学代々木校舎（現渋谷校舎）新5号館運用開始（8月17日～）
- S**全日本大学バレーボール選手権大会で東海大学女子が優勝（12月5日、6年ぶり8度目。※2022年も制し2連覇、優勝9度）
- 全国高校ラグビーフットボール大会で付属大阪仰星高校が優勝（2022年1月8日、4年ぶり6度目）
- 全国高校スキー大会で付属札幌高校男子が総合優勝（2022年2月10日、32年ぶり4度目）
- T**東海大学医療技術短期大学が閉学（2022年3月25日式典）

**2017年度から2022年度**

国内外でスマートフォンの普及が進み、とりわけ若い世代の生活に浸透した。LINEやTwitter、InstagramなどのSNSは「つながり」を生み、流行を発信し、経済的な効果をも創出するようになった。一方で、いじめや犯罪の温床になるケースもあり、光と影の両面を注意深く見つめ続ける必要がある。

米中の対立は世界に影を落とし、イギリスのEU離脱など「本国第一主義」が各国に及んだ。日本国内では台風や豪雨、地震などが相次ぎ、各地で大きな被害をもたらした。新たな元号・令和には、「人々が、清く美しく、心を寄せ合う」との思いが込められている。

学園は建学75年の節目に、100周年に向けた羅針盤ともいべき「学園マスタープラン」を策定し、新

たな航海をスタートさせた。

その矢先、世界は一変した。新型コロナウイルスが各国で猛威を振るい、日本国内でも休校要請が出され、各種イベントが中止に。学園においても各種式典や行事の中止、規模縮小が相次いだ。

2022年度、学園オリンピックはオンラインや分割開催などで3年ぶりに実施、研修航海は国内ルートで4年ぶりに実施予定など、新たな常態への対応策を模索している。東海大学のカレッジ制の導入や学部の新設、各短大の閉学も、時代への対応策といえよう。

ロシアがウクライナに軍事侵攻し、安倍元首相が凶弾に倒れるなど、人類は暴力のない社会、争いのない世の中を、いまだ実現できずにいる。嵐の中、学園は進み続ける。平和を求めて、希望の星へと続く航路を。

Tokai Fashion Club

みなさん、1年ぶりのこんにちは！ 学園におけるさまざまな制服の移り変わりを楽しく紹介しながら、アーカイブズ的なポイントもばっちり押さえていこう、というTokai Fashion Club。今回は東海大学菅生高等学校・中等部です。緑豊かな東京・あきる野の地に、高校は1983年、中等部は1995年に開校しました。中高ともに現在まで2回、制服改定を行っています。それではみんなで声を合わせて、「T.F.C」第12回、元気いっぱい始まりませす！！

12th meeting 東海大学菅生高等学校・中等部

学園史編纂員 徳原 彩恵

高校
1983年4月～
初代
第1期生～

ダブルのブレザーで 新風、吹かせます！

●開校当初を知る先生方によると、ブレザーについては「シングルだと、前ボタンを留めず、だらしくなりがち」「付属浦安高校のデザインを参考にした」などの理由から、初代制服は男女とも、濃紺のダブル(2列×2つボタン)を採用しました。1980年代初め、特に男子の制服はまだ詰め襟スタイルも多かった頃です。西多摩地区初の私立高校として、菅生高校が制服でも新たな風を吹かせました。



▲男子ブレザーの注目はバックスタイル。動きやすさを考慮し、背中中央に切れ込み(アクション・プリーツ)が入った仕様です。また腰の部分には飾りのバックベルトが付いています(写真はミニチュアレプリカ)

◀男子のネクタイは明るい紺色。細い金色のラインが斜めに入っています。男女とも、左襟には学年毎に色の異なる校章を着けます



▲金色のボタンが映える、高級感漂うダブルのブレザー。腰ポケットは、男子のみ斜めに角度のついたスラントポケット仕様。女子の襟は幅がやや広く、丸みを帯びたショールカラーとなっています。女子のブラウスは白の丸襟。蝶ネクタイのような細いリボンを着けます。スカートは幅広のボックスプリーツ。白の短い靴下を合わせました



▲男女夏服。男子はシンプルな半袖シャツ。左胸に学年色で校章が、左の袖口には校名が刺しゅうされています。開校当初は「TOKYO SUGAO」、1989年度以降は「TOKAI SUGAO」となりました*

▲▲女子の夏服はセーラータイプ。前中央のファスナーで開閉しました。胸元中央の「胸あて」には校章の刺しゅう入り。スナップボタンで着脱でき、胸元が開きすぎるのを防ぐ役割も。後ろ襟の左右にも校章の刺しゅうが。スカートは正装と同じくボックスプリーツ。靴下は白。ふわりとした紺色のスカーフは前方でネクタイ状に結びます。先端は斜めにカット。並行して金の細いラインが入っています



高校
2000年4月～
2代目
第17期生～

女子はダブルから シングルに。 男子は…

●開校から17年目の2000年4月、男女とも制服を改定しました。女子のブレザーがダブルからシングル(1列×2つボタン)となり、見た目も大きく変化。一方で、男子はダブルのまま……しかし、バックスタイルが大きく変わりました。



◀女子のブレザーはフルモデルチェンジして、シングルとなり2つボタンとなりました。腰ポケットは男子と同じスラントポケットに。スカートはプリーツが多くなりました。正装は紺色の無地ですが、オプションでチェック柄も選択可能となり、コーディネートの幅が広がりました。リボンは2000年度からエンジベースのものへと変更され、さらに後年、男子のネクタイと同柄で大ぶりなものへと変わっていききました



▲男子のブレザーは基本的に初代のものと変わりませんが、背面のアクション・プリーツと腰の飾りベルトがなくなり、シンプルなスタイルとなりました。ネクタイは2000年度以降もしばらく開校当初のものを使用していましたが、後に紺×エンジのレジメンタル柄(斜め縞模様)になります



*1983年4月「東京菅生高等学校」として開校、1989年4月「東海大学菅生高等学校」に改称



▲各種オプション（学校指定の任意購入品）も充実。左から女子夏服、女子冬服、男子です。夏のグレーをベースとしたチェック柄のスカートは、見た目も涼しげ。一方で冬服は赤や黄色を取り入れ、温かみを感じさせます。セーターは当初、白と紺の2色がありましたが、3年ほどで紺色のみとなりました。なお、女子の靴下は冬は紺、夏は白を履きます

◀女子夏服。スカートのプリーツが多くなった以外、基本的なシルエットは初代と変わりません



▶男子の夏服も基本的には初代から変更なし。ベルトのバックルには初代から引き続き、校章があしらわれています



高校 祝★開校30年 男女そろって 3代目 新たな制服に 第30期生～



▲ブレザー左胸のエンブレムは、盾の中央、T-WAVEのバックのラインが学年色で青、赤、緑と変わります。左襟に校章を着けなくなったため、学年による制服の外見の違いは、このエンブレムの色だけです

◎2013年4月の入学生から、男女とも新たな制服となりました。男子のブレザーもシングルタイプとなり、より一層スタイリッシュなデザインになりました。



▲ブレザーのボタン。男女ともシングル（1列）の3つボタンです。カフスには同デザインで小ぶりのボタンが左右に2つずつ着きます



◀スラックスはグレーをベースにしたチェック柄。ベルトにはブルーのステッチが入っています。

▲男女とも正装時に着用するネクタイ。ワンタッチで着脱可能なクリップタイプで、男女同柄。紺地にブルーとシルバーのラインが落ち着いた雰囲気です。ワイシャツは身ごろ全体が薄いブルー、襟と袖口が白いクレリックシャツ

▶冬服のスカートは正装時は紺系のチェック柄。オプションで赤系のチェック柄（写真）も選べます



▶女子はオプションでピンクのクレリックシャツ、リボンも赤系、青系2種類のチェック柄から選択可能。普段はネクタイよりもリボンを着用している生徒が多いそうです



▼各種オプション。男女とも夏はポロシャツ（白または薄いブルー）の着用が可能。ベストは紺色。胸にT-WAVEの刺しゅう入りです



▶夏服。男子の半袖シャツはノーネクタイでも襟元がまとまりやすいボタンダウン。スラックスは正装と同柄です。女子のブラウスは伝統のセーラーカラーを継承。裾のラウンドカットが素敵！ スカーフから無地でブルーのリボンとなりました



▲通学バッグ

◀女子はスラックスの着用も可能。柄は男子のものと同じです

中等部 初々しさいっぱいの 1995年4月～ 初代 第1期生～



●菅生高校の開校から13年、1995年4月に「東海大学菅生高等学校付属中学校」が開校します※
初代制服は、男子がシングルブレザータイプ。女子は珍しいボレロタイプでした。少し背伸びしてみたくするようなデザインです。



▶男子の冬服は紺色無地のブレザーとスラックス（正確には上下が同じ布地なのでスーツタイプ）。シングル2つボタンにはT-WAVEがあしらわれています。黄×黒の縞のネクタイを着用

◀女子は丸襟のブラウスに、ベスト、その上にノーボタンのボレロジャケットを合わせます。紺色の無地ですが、アクセントとして前身ごろの襟元から中央、ポケットの下まで、明るい紺色のラインが入っています。リボンはエンジ×紺色。ポケットはノーフラップ。スカートも無地の紺色です



▲通学バッグ



▶女子夏服。個性的なデザインのワンピース（ジャンパースカート）タイプ。胸元に6つ並んだ飾りボタンがアクセントになっています。丸襟の半袖ブラウスと合わせます。左右の身ごろがないので、すっきりとした涼しげな印象。スカート部分はボックスプリーツ。グレー×ブルーを基調としたチェックが爽やかですね



◀男子夏服。スタンダードな半袖シャツ。左胸には校章が刺しゅうされています（この刺しゅう、高校はポケットよりも上の位置でしたが、中学ではポケットの布に入っています）。スラックスは冬と同じ無地の紺色です

中等部 開校 10 周年にあわ 2006年4月～ 2代目 第12期生～

●開校 10 周年にあたる 2006 年 4 月の新入生から採用された 2 代目の制服で、女子のデザインが大きく変更されました。ジャケットは、今までのボレロタイプから男子同様ブレザータイプとなり、より統一性が増しました。



▲男子は全体的なシルエットに大きな変更は見られませんが、スラックスの色が濃いグレーへと変更されました。ブレザーは3つボタンに

▲女子もシングル3つボタンのブレザーとなりました

▼スラックスは冬服、夏服ともグレーです



▶男子夏服。シングル半袖シャツは、ノーネクタイでも襟がすっきりまとまるボタンダウン。左胸に小さく「TS」、左袖口に「TOKAI SUGAO」と刺しゅうが入っています



※1995年4月「東海大学菅生高等学校付属中学校」として開校、1997年4月「東海大学菅生中学校」に改称、2008年4月「東海大学菅生高等学校中等部」に改称

せて改定



◀ブレザー左胸につけられたエンブレム。「東海・菅生」の頭文字「TS」を中心に、盾、王冠、月桂樹の葉がデザインされています。なお、ブレザー左襟への校章の着用はなくなりました



◀ブレザーのボタンもT-WAVEから「TS」に

▶シャツの左胸ポケットにも「TS」の刺しゅうが。ネクタイは黒とグレー、金色の縞模様。女子のリボンも同柄です



◀紺色をベースとしたチェック柄のプリーツスカートに、紺色のハイソックスを合わせます



◀女子夏服。セーラーカラーのブラウスは、菅生高校との共通性が見られます。ボタンによる前開きで、裾は柔らかな曲線のラウンドカット。襟は薄いブルーのラインで縁取りされています。リボンは冬服のものとはシルエットが異なる明るいブルー。プリーツスカートのグレー×ブルーのチェック柄は、初代夏服との共通性も。紺のハイソックスを合わせます



中等部 中高一貫の経済性！ 進学を見据えての 3代目 デザイン変更 第20期生～



◎菅生高校が3代目の制服へ改定した1年後、中等部でも2014年4月入学生から制服を改定しました。デザインは基本的に菅生高校と同じ。高校への進学時に制服を新調する必要がなく、経済的な負担が軽減されることとなりました。このページでは9ページで紹介しきれなかった細部と、オプション品を中心に上げます。

▶男女冬服（正装）。ブレザーやスラックス、スカートはもちろん、ネクタイや左胸のエンブレム、ボタンも中高共通です



◀シャツ/ブラウスは高校同様、薄いブルーのクレリックタイプ。女子はオプションでピンクも選べます。左胸に学年色でT-WAVEと「SUGAO」の刺しゅう入り。中等部独自のオプションのネクタイは紺地に水色と白の縞模様



◀女子夏服のブラウスは高校開校時からの伝統を継承。中等部2代目で改善し、中高3代目でさらに洗練。襟のラインが濃くなり、左胸の刺しゅうはT-WAVEに。リボンの形状も変化

◀男女夏服。左胸にT-WAVEの刺しゅう入り（男子のシャツには「SUGAO」の文字も）。スラックスの柄は正装と同じです



▲夏はオプションでポロシャツの着用が可能です。色は白または薄いブルー（写真）の2色。中等部の女子は裾をスカートの外に出してよいですが、男子は裾をスラックスに入れる決まりです（高校では男女とも裾を出してよい）。

▶中高3代目の制服は基本共通。9ページと11ページを比べ、見比べると、より理解が深まります！



▼スカートの柄。上から冬服正装、夏服メイン、夏服オプション。冬服のオプションは9ページに掲載



❖12th meeting を終えて❖

電車を乗り継いで到着したのは、緑に囲まれた自然豊かな校舎。すれ違う生徒さんが、次々と元気な声で挨拶してくれたのが印象的でした。校長の峰岸英仁先生はじめ、取材に応じてくださった諸先生方、ご協力ありがとうございました！

file 12 鍵谷研究資金と電子工学科のつながり

学園史編纂員 中西 祐悟



2019年11月、学園史資料センターに1枚の銘板が移管された。長く旧代々木校舎に掲げられていたそれは、とある寄付金の由来を記したものだ。かつての工学部電子工学科の開設に深く関わる同資金は、どのような人物から、どのような想いで、本学に寄せられたのか。関係資料から探る。

電子工学研究に大きな力

当センターに移管された銘板は、縦36センチ、横54センチ、厚さ4.5センチの銅製のもの。代々木校舎(2022年度より学園では「東京キャンパス渋谷校舎」と呼称しているが、本稿においては時代性を鑑み「代々木校舎」と表記する)2号館2階の廊下、中央の階段・スロープからC翼に続く入口付近に掲げられていた。

2019年秋頃、代々木校舎では5号館の建て替え工事が行われており、同館から2号館へ、付属望星高等学校が仮移転をしていた。2021年度には同校は新校舎に移転、1号館や3号館にある法人の各部署も新5号館に移転する計画であった。また、将来的には1～3号館の建て替えの可能性もあり、資料の散逸が懸念されたため、銘板を当センターで保存することとなった、という経緯である。

銘板には次のように記されている。

鍵谷研究資金について

高千穂交易株式会社社長鍵谷武雄氏は一九五一年五月一日本学に対し電子工学研究の目的のために金五百萬円を寄附せられた 本学はこれによつて電子工学研究に必要な施設の整備を行い電子工学研究の促進に大きな力を加えた

本学は鍵谷氏の篤志を永遠に記念するためここに鍵谷研究資金を設定し電子工学の研究に対し毎年最少限金五十萬円を支出してその志を継承し電子工学の進歩に寄与せんとするものである

一九六〇年三月二日 第八回卒業式に際して
東海大学理事長 東海大学学長 松前重義

この銘板が掲げられてから六十余年の歳月が流れ、学内でその詳しい由来を知る者も少なくなりました。

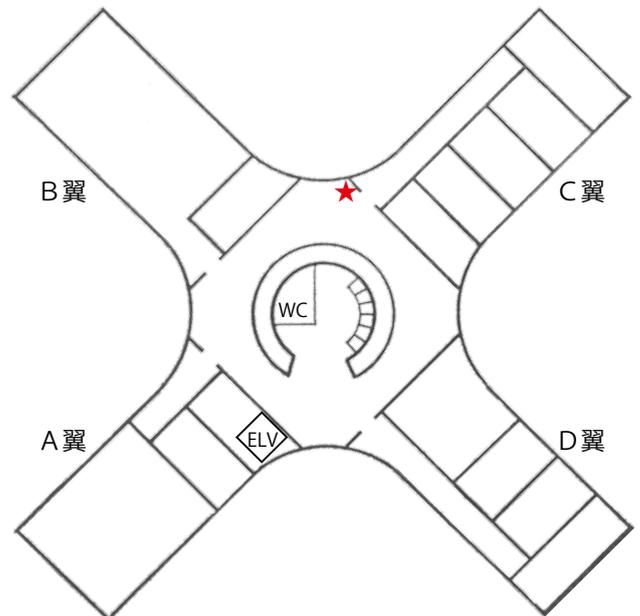
当時の500万円は、現在のどれくらいの金額だろうか。1950年度、新制東海大学発足時の募集要項には、工科系統の授業料は年額1万円と記載がある。終戦直後、極めて厳しい経営状態にあった本学園にとって、



「鍵谷研究資金について」その由来を記した銅製の銘板



代々木校舎2号館2階C翼入口に掲げられていた頃の銘板(2015年10月撮影)。下は代々木校舎2号館2階平面図。★印が銘板のあった場所。2階C翼にはかつて電子工学専攻の研究室や電子計算機室などがあつた



大金だったことが容易に想像できる。だからこそ、永く鍵谷氏の志に感謝し、敬意を払い、語り継ぐために、この銘板が掲げられたのだろう。

日本初の電子工学教室

かぎたにたけお
鍵谷武雄氏は1912年兵庫県生まれ。1943年に水道土木株式会社を創設し、1952年に社名を高千穂交易株式会社に改めた後も社長を務めた。同社は東京都新宿区に本社を置く、エレクトロニクス関連の機器やサービスを幅広く扱う商社である。

寄付から約30年を経て、鍵谷氏が本学園の創立者・松前重義とのやり取りを振り返り、1979年9月11日付の毎日新聞(夕刊)紙上に原稿を寄せている。曰く、鍵谷氏は松前重義と以前から知り合いで、「日本の大学に、電子工学科がないため、東海大学で一番初めに作ってほしい」と訴え、そのための資金援助を申し出たという。

「やがて東海大学に、電子工学科が誕生した。恐らく、日本で初めての電子工学科ではなかったろうか。

それから数年たったある日、松前先生から日時を指定し、大学へ夫婦そろって来るようにという呼び出しがあった。

その日は、東海大学の卒業式で、教授、来賓をはじめ、父兄に卒業生全員が居並ぶ前で、松前先生は「東海大学に電子工学科ができたのは、ここにおられる鍵谷さんの物心両面でのご支援があったためです」と言われた。

(中略)大学の講堂正面にある廊下に、その功績をしるしたブロンズをはめ込み、家内の手で除幕式も。(後略)」

除幕式が行われたのは、銘板にある通り1960年3月21日、東海大学代々木校舎で行われた第8回卒業式当日であろう。しかし、「日本で初めての電子工学科」という表現には注釈がつく。この時まで、東海大学に電子工学科はなかったのである。

調査したところ、日本で初めて「電子工学科」が設

置されたのは、1958年度、東京大学および大阪大学、大阪電気通信短期大学(現大阪電気通信大学)と言われている。しかし一方で、鍵谷氏が卒業した関西大学の校友会機関紙(誌)『関大』122号(1965年5月15日付発行)によると、鍵谷氏が「東海大学に日本初の電子工学教室を創設」するのに助力したと書かれている。そう、「学科」ではなく「教室」なのである。

発展の礎に永遠の感謝を

東海大学では1956年度、工学部電気工学科の下に「電力工学専攻」と「通信工学専攻」を設置。翌1957年度には「電子工学専攻」を設置している。これが「日本初の電子工学教室」である。ちなみに、1957年度は電子工学専攻としての募集ではなく、通信工学専攻に入学した約130名の中から希望者を募り、約50名が電子工学専攻へ分割編入し、1期生となった。彼らの卒業は1960年度末で、鍵谷夫妻を招いたのはその前年、1959年度末の卒業式である。

1959年度に東海大学を卒業したのは工学部生のみ49人、1960年度は260人と大幅に増加しているが、やはり工学部生のみである(文学部は1954年度から1957年度まで募集を停止していた)。260人のうち、電子工学専攻を巣立った1期生は28人だった。

この電子工学専攻が「電子工学科」に昇格するのは1966年度のこと(1963年度に湘南校舎が開設され、工学部は段階的に代々木から移転)。2001年度には同学科を含む電気系4学科と経営工学科が工学部から発展的に分離し、「電子情報学部」(7学科)へと再編された。2006年度には電子情報学部が「情報理工学部」に改称。さらに2008年度には三大学統合や短期大学部(高輪校舎)情報・ネットワーク学科の廃止などに伴い、「情報通信学部」(高輪校舎)が誕生した。

電子、情報、通信——日進月歩で発展する分野だけに、本学においても今後さまざまな改組が行われるだろう。しかし我々は、その源流に鍵谷氏の力添えがあったことを、永遠に語り継いでいこう。★



電子工学専攻を中心とした変遷略図。工学部から電子情報学部(現情報理工学部)、さらに情報通信学部が発展的に分離し、2022年度には建築都市学部も誕生した

湘南20号館が 受け継ぐもの

2022年3月、東海大学湘南校舎に20号館が竣工したのは表紙で触れた通り。同館で教育研究を行う児童教育学部について、山本康治学部長・教授に聞いた。

*

2022年4月に新設された児童教育学部児童教育学科には、小学校や幼稚園の教諭、保育園の保育士を志す1期生147人が入学した。

学校法人東海大学では、1952年、静岡県に東海大学短期大学部を開学、1969年には児童教育学科を開設し、教育研究を展開してきた。しかし、2019年度を最後に学生の募集を停止、2021年3月の全学生の卒業をもって短期大学部を閉学した。学園が静岡で培ってきた児童教育の歴史や資源を、神奈川・湘南の地で継承するのが、東海大学の児童教育学部と言える。



2階には計60台のピアノを設置。写真の「ミュージックラボラトリー」では、講師の手元を撮影、その映像を各学生がモニターで確認しながら鍵盤に向き合うことができる

湘南校舎20号館は鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積3,244.52㎡。一般教室9室のほか、特徴的な施設として、1階には実践的な学びの場となる保育実習室「あかちゃんひろば」を、2階にはグループでの鍵盤学習を行う「ピアノ室」と「ミュージックラボラトリー」を設置。3階の「Book Lounge」や「Working Lounge」は、読書やレポート作成に適した仕様となっており、階を上がるごとに「動から静」へと学習環境が変化するというコンセプトだ。

「短大時代の知識や経験をベースに、児童教育に必要な施設を湘南校舎に構築していただいた。この分野の学びには乳幼児とその保護者をはじめとする、さまざまな世代の方々との交流が必要不可欠。学生には積極的に地域に飛び出して学んでもらいたい」

山本教授は、静岡で短期大学部の学長として閉学に立ち会うとともに、湘南で児童教育学部の立ち上げに



3階の「Book Lounge」には学園の源泉・デンマークを思わせる北欧スタイルの家具や照明器具を設置。短期大学部後援会の寄付により導入

尽力した。

「短大時代より、『社会的有用性のある教員・保育士の育成』という目標を継承しています。1期生にはこの夏、早速現場に出てもらいました。各自で小学校や幼稚園、保育園に連絡を取り、2日間実習をさせてほしいと申し込む。400を超える校園に受け入れてもらい、学生たちは社会人としての基本姿勢、自立性や責任感、判断力、さまざまな力を養ったはずです」

学生に厳しく自立を促す一方で、個別の面談カウンセリングも逐次実施するなど、フォローも手厚い。第1セメスターから現場に送り出すスピード感、学生と教員のアットホームな距離感は、「短大という前身があったからこそ」と山本教授。

一方で、4年制ならではの教育にも取り組む。学生たちが3、4年次に受講予定の「特化プログラム」は、「保幼小連携」「地域子育て支援」「障がい児支援」「国際理解教育」の4分野から、それぞれが目指す教育者像に合わせて選択する。

「育てたいのは、『子どもの可能性を信じ、伸ばすことのできる先生』。人にはそれぞれ立場や役割があり、その集合体が社会です。誰一人取り残さない社会を目指すのであれば、十人十色の子どもに対して、同じ先生が10人いても意味がない。得意分野を持った先生が、さらに子どもたちの得意分野を伸ばしていく。そうして持続的に社会を発展させていってほしいですね」 ★



静岡短大時代も運営していた「あかちゃんひろば」を2022年6月から湘南20号館1階で開設。3歳未満の乳幼児を対象とした地域の子育て支援施設で、幼稚園・保育園の現場を経験した専門スタッフが常駐。学生の学び場ともなる。愛称は1期生から募り「きらり・Tokai」に決定

学園史資料センター Information

「若き日に汝の～」の四つの言葉をテーマにデジタル展示を開催しています

学校法人東海大学学園史資料センターがインターネット上に開設している「学園史デジタル展示室」では、2022年10月31日より、『若き日に汝の～』の呼びかけを心に受け止める一理解から実行へ、未来を拓く希望の言葉として一」を開催しています。

学園建学80周年を記念した同展示は、学園の創立者松前重義が掲げた「若き日に汝の思想を培え 若き日に汝の体躯を養え 若き日に汝の知能を磨け 若き日に汝の希望を星につなげ」の四つの言葉がテーマです。学園が「教育の指針」として受け継いできたこの言葉を、正しく理解し、現在、そして未来に生かしてもらえよう企画しました。

四つの言葉の意味をひも解き、変遷をたどるとともに、学園の建学の精神を表す物品の数々を紹介しています。創立者の体験に裏打ちされた四つの言葉をもう一度とらえ直すことが、理想と現実のはざままで生きる



「デジタル展示室」企画展トップページ

私たち現代人にとって、人生のより良い一歩を踏み出すための一助となれば幸いです。

学園史デジタル展示室ではこのほか、「創立者松前重義と建学の同志たち」(2021年11月1日より公開)、「松前重義・世界平和へのプレイボール」(2022年9月8日より公開)の企画展を開催しています。パソコンやスマートフォンから、いつでも、どこでも、どなたでも閲覧可能となっています。ぜひご覧ください。

◎学園史デジタル展示室 URL

(QRコードはこちら→)

<https://www.tokai-archives.com/exhibition/>



学園史資料センター日録 (抄録)

2021年4月～2022年3月

【2021年4月】

8日 テレワーク体制②(事務室に出勤する者を原則2名に制限、他のスタッフは在宅勤務)に移行(～4月29日)

23日 全国大学史資料協議会(大学史協)東日本部会第196回幹事会参加(東京都千代田区・法政大学市ヶ谷キャンパス)

30日 テレワーク体制①(事務室に出勤する者を原則1名に制限、他のスタッフは在宅勤務)に移行(～10月31日)

【5月】

27日 大学史協東日本部会2021年度総会、第197回幹事会参加(オンライン形式)

【6月】

8日 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協)2021年度総会参加(オンライン形式)

11日 全史料協関東部会2021年度総会参加(オンライン形式)

【7月】

16日 大学史協東日本部会第198回幹事会、第123回研究会参加(千葉県千葉市・千葉

大学西千葉キャンパス)

【10月】

7日 大学史協2021年度全国役員会、全国研究会参加(オンライン形式)

14日 望星学塾主催オンライン講話「望星研究会」参加(同21日、28日)

18日 東海大学短期大学部、東海大学総合資料センターにて資料調査整理作業(～19日、於静岡県静岡市)

28日 学園史資料センター Facebook 開設

【11月】

1日 「学園史デジタル展示室」開設。特別企画展「創立者松前重義と建学の同志たち」開始

1日 テレワーク体制②に移行(～2022年1月31日)

18日 全史料協第47回全国大会・研修会参加(～19日、於高知県高知市・高知県立公文書館/オンライン形式)

【12月】

13日 東海大学短期大学部、東海大学総合資料センターにて資料調査整理作業(～

14日、於静岡県静岡市)

16日 大学史協東日本部会第125回研究会、201回幹事会参加(オンライン形式/東京都港区・慶應義塾三田キャンパス)

【2022年2月】

1日 テレワーク体制①に移行(～3月31日)

8日 第60回学校法人東海大学資料編集委員会開催(於東京都渋谷区・東海大学代々木校舎)

【3月】

10日 大学史協東日本部会第127回研究会、203回幹事会参加(オンライン形式/東京都八王子市・帝京大学八王子キャンパス)

12日 東海大学短期大学部、東海大学総合資料センターにて資料調査整理作業(於静岡県静岡市)

15日 『東海大学学園史ニュース』No.16発行

31日 東海大学学園史資料センター編『東海大学資料叢書10 学部・学科の設置目的・趣旨』発行

31日 展示図録『創立者松前重義と建学の同志たち』発行

学校法人東海大学学園史資料センターでは、 学園と、学園に集った人々の足跡をたどる資料を収集しています。

各部署や学部学科、機関で保存期間の満了となった文書が発生した際には、当センターまでご連絡ください。

個人として下記のような資料をお持ちの方は、あわせて寄託や移管のご協力をお願い申し上げます。

《受講・講義ノート、研究資料、書簡、手帳、日記、メモ、写真、記念品、機関誌など》

※このほか保管に困っている物品、資料になるか不明のものがありましたらご一報ください。

また、学園の歴史に関するレファレンスに応じています。

事項の時期や経緯の確認、記念誌の作成、パネル写真展の企画などの際は、お気軽にご相談ください。

資料提供者一覧

2021年4月～2022年3月

【個人】

阿部かほる
雨木秀文
内田裕久
河村裕文
木村英樹
木村真人
桐生達夫
芹沢利尚
谷卓見
萩原伸介
原口由美子
星野尚文
松田良昭
村井正己

【機関・団体】

公益財団法人松前国際友好財団

学校法人東海大学

理事長室企画調整課

理事長室情報政策課

学園事務センター総務ユニット

望星学塾

東海大学

ビーワンオフィス企画担当
ビーワンオフィス施設設備担当
ビーワンオフィス高等教育・FD担当
ビーワンオフィス広報担当
キャンパスサポートオフィス教育・技術支援担当
キャンパスサポートオフィス大学評価担当
キャンパスサポートオフィス総務担当
キャンパスサポートオフィス出版担当
ヒューマンソサエティカレッジオフィス
エンジニアリングカレッジオフィス
リベラルエデュケーションカレッジオフィス
メディカルサイエンスカレッジオフィス
グローバルシチズンカレッジオフィス
スルガベイクレッジ静岡オフィス企画・広報担当
スルガベイクレッジ静岡オフィス船舶管理担当
スポーツプロモーションセンター
ステューデントアチーブメントセンター

語学教育センター

旧文学部長室
旧政治経済学部長室
旧教養学部長室
旧工学部長室
旧大学運営本部戦略プロジェクト室
旧大学広報部入試広報課
旧入学センター入学課
旧教育学部学生課
旧教育支援センター教育支援課
旧総合情報センター情報システム課
旧キャリア就職センター
旧現代文明論研究センター
旧国際教育センター
表千家茶道会
ワンダーフォーゲル部
東海大学医療技術短期大学
東海大学付属望星高等学校
東海大学新聞編集部

順不同・敬称略

学校法人東海大学 学園史資料センター

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学湘南キャンパス 5号館2階

☎ 0463-63-4700 (直通) FAX (利用を停止しました)

☎ 0463-58-1211 (代表) 内線 2559

ホームページ <http://www.pr.tokai.ac.jp/gsc/>

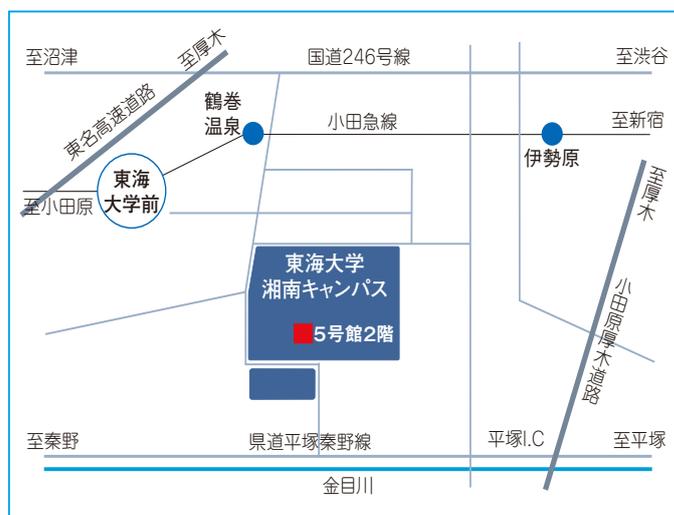
メールアドレス shiryo-center@tsc.u-tokai.ac.jp

フェイスブック <https://www.facebook.com/TokaiUniversity.archives>

アクセス

●小田急線「東海大学前」駅下車、徒歩25分
または同駅南口バス乗り場から神奈中バス
「秦野駅」「下大槻団地」行に乗車し5分、
「東海大学北門」下車、徒歩10分

●JR東海道線「平塚」駅下車、北口バス乗り場から神奈中バス
「東海大学」行に乗車し30分、終点「東海大学」下車、徒歩3分
または「秦野駅」行に乗車し25分、「東海大学正門前」下車、徒歩10分



東海大学学園史ニュース No.17

Tokai University Educational System Archives News

2023年2月1日発行

編集・発行 学校法人東海大学学園史資料センター